

十勝組 第9期

連研通信

十勝組 研修部

二〇一二年四月二十八日、本願寺帯広別院にて、第九回連研が開催されました。七カ寺から二十一名の参加でした。



開会式では全員で『重誓偈』をいただきました。

おつとめ・作法は、脇谷さんが担当。



ご和讃の「三重」を以てついに『正信偈』のおつとめ実践が終了いたしました。
おつとめは「慣れ」と「継続」、そして「度胸」だと思います。ご自宅でも、お寺でも、どこでも、機会があれば



ば、お正信偈もなんでも、どんどんいただきます。お敬いの気持ちがあれば大丈夫、少々

の間違いは、どうかお気になさらず……。

今回の話し合い法座のテーマは

「宗教って何？」

「数多くの宗教があるけれど、宗教が最後にくめざすことや願うことは同じなの？ 私にとって宗教とは？」

担当は増山孝伸さん（清水・熊牛・寿光寺）でした。

たくさん盛り上がった話し合い法座の発表もふまえ、いろいろおっしゃっていました。



「スーパーマーケットのように、欲望に応じてたくさん宗教がある。」

まとめの法話では、黒板に

他宗 私↓仏
真宗 仏↓私
先手・先手のお手まわし

と書いて、最後にもそれを強調なさっていたのが印象的でした。

わたしが頑張るからではなく、阿弥陀さまが頑張ってください、わたしに救いが届く。今まさに届いている。

その事実を聞かせていただいただけなのですね。

※ ひとこと感想を紹介します。



「今日の増山さんのお話、数少ない言葉の中で『浄土真宗は仏の方から私達に手をさしのべてくださっている』、その言われたことを信じ切ることでですね。ありがとうございます。絶対信じています、真実の教えを」「毎回大変なことばかりの連続だけど最後まで頑張るぞ。修行中なり」「浄土真宗がいちばん良かったと思



います。いろいろとお話をきかせていただきありがとうございます。どうございました「他宗では絶対救われないこの身が浄土真宗の



加します」「話し合い法座では皆さん浄土真宗がいちばんとの声を聞きまして心強く思いました。雪もとけやすくなりましたので次回がたのしみです」「回を重ねるたびにむつかしくなり大変である。今回のテーマは割り

み教えに会い阿弥陀さまのお慈悲の中に生かされていることを知りおろかな自分の心を見つめて感謝の心で暮らしたいと思えます」「毎回重ねている話し合い法座。その都度のテーマに感銘しており次回も楽しみに参



ったです。今回のテーマはむつかしいようであったが身近なものが多かった気がしたのか皆さま多様な意見があつて良かったです。次回も楽しみにして参加したいと思っていますのでよろしくお願いいたします」「真宗とのご

縁は、私が生を受ける前からの縁であったことにご気づかされ、仏の子にさせて頂いた喜びがとても幸せです。◎本日の研修、話し合い法座は皆さま笑顔でホッとな時でした」

